

[オーバー・ザ・レインボー] Over the Rainbow

大阪教育大学 国際センターニュース

TOPICS

Voice

- 2011年度前期修了留学生の言葉
- 海外留学&短期語学研修体験談
西山 裕介 (米国・UNCW 交換留学)
山西 未央 (豪・GELI 短期語学研修)
- 先輩交換留学生からの近況報告
2008-2009 交換留学生
サルバ・ミシュカ

留学生キャリアカウンセリング ■

日本文化研修～北海道・京都 ■

奨学金贈呈 ■

国際交流スポーツ&ゲーム大会 ■

春のホストファミリープログラム ■

七夕笹飾り ■

留学生講演 ■

第6回かしわら国際交流フェスティバル予告
留学生後援会入会のお知らせ



巻頭言：

『私の国際年』

大阪教育大学 理事 木立 英行

「私の国際年」

大阪教育大学 理事 木立 英行

これまで夜間学部勤めが長かったので留学生とは縁がありませんでしたが、今年は珍しく私の授業（科学史）を中国からの留学生が受講していること、タジキスタンの留学生から音楽教育専攻の院生と二人でロシア語を習うことになったことと、私にとってちょっとした『国際年』になりました。

中国の留学生諸君は熱心で（無遅刻無欠席、決して授業中眠らない）、時々中国の事情を尋ねてみると的確な答えが返ってくるので授業がしやすい。日本は長い間中国の文化を取り入れてきており、日頃意識していなくても未だにその名残が現代の我々にもあることが彼らとの短いやり取りの間でもよくわかり、「三国志」読んでおいて良かった、漢文を習っていて良かったというところです。同じ様に、彼らも日本の風習や考え方にどこかに通ずるものを感じているかもしれません。

一方、現代の日中間で時々起る摩擦から窺われるのは、日中双方の考え方、感じ方に互いに理解しがたいものも多々あることです。それが何であるか未だははっきりしませんが、中国の古典に親しんで作り上げた中国、中国人像を現代の中国人に単純に当てはめるのは意味がありませんので、留学生諸君との付き合いを通じて多少なりとも理解できればと思います。

ロシア語の方は発音のみを習うことにし、詩をテキストにしています。ロシア語は先生の母語ではなく、多民族国家である母国の共通語ではないかと思えます。しかし、語学専門（日本語科）のエリート学生だけあって大変『音』に厳しく、一音も曖昧にはしないので厳しいものがありますが、習い始めてしばらくして言葉は音で出来ているのだから日本語にない『音』でもそれに近い日本語の『音』で代用することなく、辛抱強く訓練する必要があるのだと気付きました。これはどのような外国語を習う場合にも必要なことではないかと反省させられました。小学校から英語を教える時代になりましたが、『音』もさることながら初めからネイティブの如く流暢に話すことを重視し過ぎている様な気がします。『音』を正しく学ぶだけでも大変な事ではないかと思えます。ロシア語の特徴的な美しい抑揚はなかなか身に付かない言い訳でもあります。今年はこのように思いもかけず留学生諸君のおかげで、改めて外国と外国語学習について少し考えさせられることになりました。

もう少し留学生諸君と交流が出来ればと思い始めたところです。



INTERNATIONAL CENTER REPORT



Report: Career Counseling

- 軽快なトークで留学生に語りかける中川氏 <写真：上左>
- 自らの就職活動を振り返り、後輩にアドバイスする卒業生、リー・チェン・ハン君（マレーシア出身） <写真：上右>
- 白熱するキャリアカウンセリング会場 <写真：下右>



留学生キャリアカウンセリング

6月1日（水）に留学生向け就職支援ガイダンスを開催しました。「留学生30万人計画」の骨子をなす入口から出口まで一環した支援策の一つとして、就職支援を積極的に推進することが打ち出されており、留学生が選んだ日本で遜色なく就職活動ができるよう、また、少しでも就職活動への不安解消につながるよう開催したものです。

当日、前半は日経就職ナビを運営している株式会社ディスコにガイダンスを依頼し、留学生の就職事情に詳しい中川氏を講師として招き、日本で就職活動する際に必要な知識、計画の立て方、留学生特有の問題点等について講演していただきました。

後半は、日本企業で活躍している本学卒業の先輩留学生を招き、就職活動体験談を話していただきました。

参加した10名の留学生からは、「母国の就職活動と全然違った。」「3回生から動きださなければならぬことがわかった。」などの、感想が寄せられました。

国際センターでは、今後もキャリア支援センターと協力し、このような取り組みを継続して開催していく予定です。

HO 北海道 DO



平成 23 年 2 月 16 日 (水) ~ 18 日 (金), 冬の留学生日本文化研修で一路北海道へ向かいました。研修に参加する留学生は事前学習として北海道について歴史・文化・経済・自然などから一つテーマを選んでレポートを提出し、万全の態勢で研修に臨みました。

到着後まずは函館に移動、明治館・金森レンガ倉庫群の見学などを経て 1 日目の宿「湯の川温泉」へ。翌日は朝市見学のかたわら海鮮丼を堪能し、小樽へ向かいました。小樽運河や美しい町並みを鑑賞後、足早に札幌の北海道庁旧本庁舎を訪問し、北海道の歴史やアイヌ民族の文化や風習などを学びました。最終日の訪問先は日本最北の動物園・旭山動物園。いきいきとした動物の生態をじっくり見学しました。

駆け足の 3 日間でしたが、本土とは違った北海道の自然や伝統文化に触れることができ、日本の地域性の豊かさにもふれることができた研修だったのではないかと思います。



日

各地を巡り、未知の日本に触れる

本文化研修

小雨の降りしきる平成 23 年 5 月 28 日 (土)、留学生・日本人学生計 4 5 名が「春季日本文化研修 (京都)」に参加しました。午前 9 時に大阪教育大学柏原キャンパスを出発し、一路バスで京都に向かいました。10 円玉片手に平等院鳳凰堂を見学し、鳳翔館で数々の貴重な展示物を目にした後、平等院表参道を散策しました。午後からは、宇治市源氏物語ミュージアムを見学し、源氏物語の世界観を堪能した後、古代友禅苑へ行き友禅染体験を行いました。

日本文化研修で学んだこと

学部 1 回生 林紹霞 (りんしょうか/中国)



5 月 28 日、バスは宇治市へ走り始めた。細雨が止まるつもりもなかったようにずっと降っている。約 1 時間、正面に向かってきたのは長い歴史を持っている宇治橋である。とうとう流れ込んでいく宇治川、その上宇治橋が千年以上静かに架けられている。語りはしないが宇治の歴史を見つけている。ここは「源氏物語」にとってもなくてはならない舞台だった。

平等院見学を経て、午後になると、源氏物語ミュージアムへ訪ねた。神尾先生の講義を聞いたから、源氏物語について多く疑問を持っている。その中の人間関係も頭の中に飛んでいる、どっちか、どっちが全く分からない。展示ゾーンに入っていて、平安の雰囲気に囲まれているように、牛車や光源氏の栄華の象徴である六条院の模型も見ました。当時、人々の生活様子、王朝文化を身近に感じた。架け橋を渡って、第三部宇治が舞台となっていた源氏物語の世界へ進んだ。ここに「宇治十帖」物語シアターというものがある。紗幕や実物大のセットを用い空間全体を演出した、臨場感あふれる物語シアターです。登場人物にスポットを当て、宇治十帖の名シーンから、『薫の垣間見』『管弦の宴』『匂宮と浮舟』の 3 シーンを音と光のパノラマで演出する。歩きながら源氏物語が静かに演出している、まるであの時代に入ったように、源氏物語に対する興味はもっと深めた。

最後、自分の手で友禅を作った。簡単に見えるが、実は難しい。先生の指導がなかったら絶対めちゃくちゃになった。自分の手で花の模様が一つ一つ出来上がり、すごくうれしかった。

京都から帰って、源氏物語の話ずっと頭の中に浮かべている、中の人間関係をわかるようになりたいため、今源氏物語を呼んでいる。ちょっと複雑だが、面白い。今回、京都の旅が楽しかった、日本の古代文化も身近に感じまして、よかった。



KY 京都 O

2011 年度前期修了留学生の言葉



	南 京恩 (ナムギョンウン) 韓国 (Korea) 交換留学生
--	---------------------------------------

みんな
ありがとうございました。
ほんとにお世話になりました。
この年の思い出は
一生忘れられません。♡



	崔 承鎬 (チェスンホ) 韓国 (Korea) 交換留学生
---	-------------------------------------

一年間本当に楽しかったです！私にやさしい先生といい友達にありがとうございました。出会いが無事に楽しく過ごしました。留学生活が大好きです！
国に帰るとここで学んだことを必ず生かします。この年の思い出！！
生涯忘れません！！



	金 鍾珍 (キムジョンジン) 韓国 (Korea) 交換留学生
---	---------------------------------------

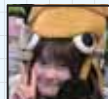
時間、と早いとすね！帰ると思えば寂しくなりそう(´▽`)もっといたい(´▽`)！(T.T)
大阪教育大学に留学できて、いろいろ思い出をつくることができてうれしいです。皆よかったです。(´▽`)♡
お世話になった先生やボランティアの方々、なター友達に感謝の気持ちを伝えています。本当にありがとうございました！！
♡(☆▽)♡

	侯 晗雪 (コウカンセツ) 中国 (China) 交換留学生
---	--------------------------------------

この一年間、本当に楽しかったです。
日本のきれいや先生たちのやさしさなどを是非忘れません。
もし機会があれば、もう一度帰って来ます。♡

	秦 強 (シンキョウ) 中国 (China) 交換留学生
---	------------------------------------

大阪教育大学に来て一年間で、先生、皆さんと一緒にいろいろ体験して、勉強しました。一生忘れない輝いた思い出を作った。自分も成長しました。そろそろ中国に帰ります。最後に、大教に「ありがとうございます！」と言いたいです。

	賀 冰青 (カヒョウセイ) 中国 (China) 交換留学生
---	--------------------------------------

大教大にきつた、よかった！
日本にきつた、よかった！
皆と会った、よかった！
この一年間に皆のお世話になりました！
ほんとに、ありがとう ございませう♡ またどこに会いましょう！

	梁 正振 (ヤン ジョンジン) 韓国 (Korea) 交換留学生
--	--

日本で一番よかったのはサークル活動！
イサー！はいお！
イサーに入、てよかった！
みなと親しくな、ってよかった！
またいつか一緒に踊りたい！

	PUENTONG, PONGTORN (プントーン・ポントーン) タイ (Thailand) 交換留学生
---	--

大教大に留学できてよかった。
いろんな人と出会って、いい友達が増えて、母国では得られない経験ができた！
ありがとうございました。
大教最高!!!




	余 百加 (ヨモモカ) 台湾 (Taiwan) 交換留学生
---	-------------------------------------

OKUの皆さんと出会ってホンマによかった。
今までありがとう ございます。
LOVE U ALL!
また笑い合おうね。momoka

	張 琇涵 (チャン シュウハン) 台湾 (Taiwan) 交換留学生
---	--

この一年間すごく充実して、色々な人達に出会って、世話になりました。数えられないいい思い出を作りました。皆さんホンマにありがとう ございました。さようならなんて言いたくない。きっとまたいつか会いましょう！

	CHONKLA, THIDARAT (チョンカー ティダーラット) タイ (Thailand) 交換留学生
--	---


OKUに留学して色々な経験ができて、皆さんと出会えて、よかったです。ここに過ごした時間は私の大切な思い出になります。
皆さんのおかげで私はこんなに成長してきて、本当にありがとうございました。m(_ _)m



	Pakdeepitak Prapapan (パクディーピタック プラパーバン) タイ (Thailand) 日本語日本文化研修留学生
---	--


みんなと過ごした時間はとても楽しかった！絶対忘れないよ！
明日またいい出会いを♡♡



	Yunusova Nargis (ユネソヴァ ナルギス) タジキスタン (Tajikistan) 日本語日本文化研修留学生
---	---

私は一番幸せな大阪教育大学の留学生です。
お世話になってありがとうございました。忘れない年です！



	楊 玉菁 (ヤンユウチン) 台湾 (Taiwan) 交換留学生
---	---------------------------------------

この一年間、日本の生活は夢のような幸せだ。たくさん友達と出会って、本当に楽しかったです。先生たち、お世話になりました。皆、ありがとう ございます。大教大のことを絶対忘れない。♡ Stella

奨学金贈呈 | 大阪柏原ロータリークラブ

2011年4月19日、大阪柏原ロータリークラブにおいて「大阪柏原ロータリークラブ教育支援金」授与式が行われました。

これは、本学私費外国人留学生を対象として毎年大阪柏原ロータリークラブ様から支援いただいているものです。

本年度は対象人数を4人に増やしていただき、留学生からは感謝の声が聞かれるとともに応援に応えられるように頑張って勉強していきますとの言葉が口々に聞かれました。

- ・馬 菟聡 (マインツ / 教養学科文化専攻2回生)
- ・朱 良 (シュリョウ / 教養学科自然研究2回生)
- ・劉 克端 (リウコクタン / 大学院教育学研究科2回生)
- ・ムフタルジャン・クルバン (大学院教育学研究科2回生)



国際交流スポーツ&ゲーム大会 ホストファミリープログラム | グローバル香芝

2011年5月8日(土) グローバル香芝様主催による春の恒例イベント、スポーツ&ゲーム大会が催されました。本学からの参加者は8名と例年より少ない学生数ではありましたが、この日集まった白鳳女子短期大学の留学生たちと共に、ドッジボールで爽やかな汗を流し、美味しいお昼ご飯をいただいた後は楽しいゲームに一同大盛り上がり。新たな友人も増え、あっという間に初夏の一日は過ぎていったようです。

また、5月14日(土)のホストファミリー・プログラムでは、7名の留学生が参加させて頂きました。日本人家庭は初めてという留学生もあり、緊張しつつも胸躍らせて、お世話になるご家庭に伺いました。

・鄒 震 (学部留学生・中国出身)

(一部抜粋) ホストファミリーは親切なおじいさんとおばあさんで、とても立派な家に住んでいる。一番気に入ったのは家の庭、水が流れ、色々な花や木が植わり、自然のままに生きているように感じる。(中略) 夜のご馳走料理は手巻き寿司だった。色々な種類の刺身があって、ビールを飲みながら食べたり、しゃべったり、本当に家族のような感じがする。とても美味しかった。本当にありがたい。



七夕笹飾り | シニアシティカレッジ

2011年6月29日(水) 留学生25名、引率2名で、柏原市の「柏陽庵」で開催された、シニア CITY カレッジ講座生のみなさんとの交流会に参加しました。

シニアCITYカレッジのみなさんの主催で、日本の文化を一緒に楽しむイベントです。まず、本格的なお茶室での茶道体験です。お茶の作法を教えていただいた留学生は、少し緊張気味でしたが、おいしいお茶と和菓子を楽しんでいました。

つづいて、講座生のみなさんにお手伝いいただき、折り紙で七夕の笹飾りを作りました。切ったり、貼ったり皆、奮闘して立派な笹飾りが出来上がりました。

最後に、短冊に書いた願いことを披露し、記念撮影をしてにぎやかな雰囲気の中、シニアCITYカレッジのみなさんとの交流を深めることができました。



留学生講演 | 柏原市人権推進課

毎年2回、柏原市のフローラルセンターで「異文化の暮らしを学習しよう」という講座が開催されており、本学の留学生が講師となって市民の皆さんに様々な国の文化を紹介しています。2011年7月6日(水)には、日本語日本文化研修留学生のナルギス・ユヌソヴァさんが、母国のタジキスタンの歴史、食文化、宗教、伝統行事などについて話しました。

日本ではあまり馴染みのない中央アジアの内陸国、国土の93%が山地に覆われ、その半分以上が3,000メートル以上という美しい自然に恵まれたタジキスタンですが、様々な民族に支配されてきた複雑な歴史や、独立後の内戦の様子など、写真を使って分かりやすく説明しました。参加者の皆さんも、日本ではほとんど聞く機会のない珍しい話に、熱心に耳を傾けていました。

タジキスタンの女性は若い頃から民族衣装を縫い始めるということですが、当日は自ら作った民族服を着て登場、さらに国から持ってきた手作りの衣装を見せながら、会場からの質問に1つずつ丁寧に答えていました。最後には、希望者が民族服を試着したり、一緒に記念撮影をしたりと、大変盛り上がりました。「刺繍や飾りなど、手の込んだ仕上がりがすごい」との感嘆の声も寄せられました。



海外留学体験談（派遣先：アメリカ・University of North Carolina at Wilmington）

大阪教育大学では毎年6月と12月、交換留学を希望する学生を選抜し、世界各国の協定先大学へ1年または半年間派遣しています。語学研修とは異なり一年という決して短くはない期間を、家族と離れ、海外で過ごすという経験。帰国した学生の一回りも二回りも成長した表情に出会うたび、楽しいだけではない反面、充実していたに違いない留学生活が垣間見えてきます。

西山 裕介

Yusuke Nishiyama

（学校教育教員養成課程理科教育専攻）

私はアメリカのノースカロライナ大学ウィルミントン校に11ヶ月間留学しました。その中で、大きく分けて勉強面と娯楽面で貴重な体験をしました。勉強面では授業の中で世界の教育や環境について学びました。娯楽面では他の国の人と非常に楽しく過ごせ、とてもよい交流ができました。

私は世界教育問題という授業をとり、その中で、日本の教育問題について、また、世界のトップクラスの教育を誇るフィンランドの教育について研究しました。世界から見た日本の教育の問題点や改善点をしっかり見つけることができたこと、日本の授業システムとは全く違った授業体系から子供を育てる方法をいくつか知ることができました。環境問題のクラスでは、ワシントン DC に行き、再生エネルギーへの変換を求めるデモに参加するなど、世界が環境について真剣に考えているということを感じることができました。

留学で一番楽しかったことは、欧米文化特有のパーティーです。パーティーは毎週末、また、長い休みの旅行に行った際は毎晩のように行われます。パーティーの中で、沢山のひとと出会い、話し、飲むことで、いろいろな国のひとと友だちになれるその国のひとのことを学べますし、同時に、社交性、コミュニケーション能力がつかめます。最初は、日本の文化ではないので、戸惑うところもありましたが、一緒に勉強や旅行を共にすることで、徐々に深い友だちができ、そういった違った文化に親しむことができたと思います。他の娯楽面で言えば、海が近かったので、サーフィン、車で少し山のほうに行けば、スノーボードが楽しめました。また他の国のひとの中に、楽しむ時と勉強のメリハリをしっかりと決め、楽しむ時は思いっきり楽しむ、という態度がとれる人がいたので、あの態度を見習いメリハリある生活を心がけたいです。

このように私は、留学を通して勉強面と娯楽面において日本ではなかなかできないことを経験できました。これらの経験をこれから生かしていきたいです。



（写真上）サーフィン仲間と（左端）
（写真中左）ハロウィンパーティー
（写真下右）クラスメートと



UNIVERSITY OF NORTH CAROLINA AT WILMINGTON GRIFFITH UNIVERSITY ENGLISH LANGUAGE INSTITUTE

短期語学研修体験談（派遣先：オーストラリア・グリフィス大学）

例年2月末頃、約6週間の期間で実施され、参加者は本学の協定校であるオーストラリア・グリフィス大学附属英語学校（GELI）で語学を学びます。現地ファミリー宅に滞在し、集中的に英語が学べる機会とあって、学部学年を問わず人気の語学研修プログラムです。2010年度は11名が参加しました。

山西 未央（小学校教員養成5年課程）

Mijo Yamanishi

●留学先での生活

平日は朝から昼まで大学へ行き、友達と昼ごはんを食べた後は、町へ出たり、フラフラと知らないバスに乗ってみたり時間があつたので色々ことができました。夜に授業の復習をして、次の日のためになるべく早く（10時ぐらい）に寝るようにしました。

●留学のアドバイス

私は、せっかくオーストラリアにきて大学まで行かせてもらったのだから日本人とばかりいては、もったいないと思いました。どうしても意思疎通ができる日本人といたいという気持ちはありますが、英語力を上げるためには英語を話しまくるしかないと思います。

●留学して良かったこと

何より、人の温かさを感じました。正直、私は英語をあまり話せないんですが、ホストファミリーも大学の異国の友だちも、道で話しかけられて仲良くなった人さえも、一生懸命きいてくれて、話しかけてくれて、人って素晴らしいと強く感じました。



先輩交換留学生からの近況報告

2008年10月～2009年8月まで、本学に交換留学生として在籍していた Sulva, Mishka 君 (サルバ・ミシュカ/米国出身・UNCW 卒業) から嬉しいお便りが届きました！本学での滞在を経て、留学期間に積み重ねた経験や友情を糧にその後も頑張る留学生達。それぞれが目指す場所に辿り着けるよう、心から祈るばかりです。

サルバ・ミシュカ (Sulva, Mishka)

米国ノースカロライナ州出身
2008年10月-2009年8月、交換留学生として在籍

こんにちは！私は 2008-2009 年にアメリカから大阪教育大学で留学していたサルバ・ミシュカです。そして今は、奈良県の公立小学校と中学校、時には幼稚園でも英語を教えています。この夏で丸1年となります。多忙な毎日ですが、とても充実しており、こうして日本に戻ってこれたことをとても光栄に思っています。また現在は、更に日本の英語教育について学ぶため、大学院進学を目指しています。

私が見てきたアメリカと日本の公立学校には多くの違いがあります。それは「制服」や「黒板」(アメリカは多くの場合、ホワイトボードです)、「国旗」(アメリカの学校では日々目にします)といった点もありますが、中でも最もびっくりした違いはエアコンが無いことです。校内でも、夏はとても暑く、冬はとても寒いのです！

一方で、類似点もあります。それは、子どもたちの成長を願う教員の強い思いです。先生方は、放課後でも休日でも、「どういった授業や学校行事が、子どもたちの力を伸ばし、また発揮させられるだろうか」—そういったことを常に思い巡らせながら過ごしています。私はまだまだ未熟ですが、これからも様々な違いや類似を発見しながら、元気いっぱいにご迷惑していきたくと思っています。



元気いっぱいな児童達に英語を教えるミシュカ先生！（最後列中央）



交換留学生時代のミシュカ (右)

第6回かしわら国際交流フェスティバル開催のお知らせ

「つながろう、柏原から世界へ！」

大阪教育大学と柏原市との共催による「第6回かしわら国際交流フェスティバル」を今年も開催いたします！2011年は前年同様大阪教育大学柏原キャンパス内で開催を予定し、11月1日～5日開催の大学祭「神霧祭」とあわせてお客様をお迎えします。

留学生が手作りで腕を振る「ワールド屋台」や、各国の踊り等、パフォーマンスも現在準備中です。詳細は後日Webページにてご案内させていただきます。

留学生ともども皆様のお越しを心よりお待ちしております。

第6回かしわら国際交流フェスティバル(予定)

【日時】2011年11月3日(木・祝)

11:00～14:00 予定

【場所】大阪教育大学 柏原キャンパス
附属図書館前付近

【お問い合わせ】

大阪教育大学 国際センター

電話: 072-978-3300/3299

FAX: 072-978-3348

E-mail: isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp



留学生後援会入会のご案内



☆会員募集中☆

留学生後援会では奨学金支給、国際交流行事支援などを行っております。ご関心をお持ちの皆様は、ぜひご加入下さい。

★会費・納入方法★

一般会員…学内職員

・ひとくち千円/月、または一括・給与から天引き

特別会員…学外支援者

・振込

任意の金額を下記いずれか宛てにお振込下さい

ゆうちょ銀行 ばるる

記号:14120 番号:96618321

名義:大阪教育大学留学生後援会

(オオサカキョウイクダイガクリュウガクセイコウエンカイ)

三菱東京UFJ銀行 藤井寺支店

普通預金 口座番号:5210211

名義:大阪教育大学留学生後援会

(オオサカキョウイクダイガクコウエンカイ)

・現金納入

★連絡先★

大阪教育大学留学生後援会 東・吉田

電話: 072-978-3351, 3300

E-mail: ryugaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

